

## 第 6 回九州橋梁・構造工学研究会シンポジウム 最終原稿の書き方

### 1. 原稿の送付について

KABSE シンポジウムでは、最終原稿(PDF)を、USB メモリーにコピーし、KABSE シンポジウム参加者他に配布します。従って、作成するOS の環境でのPDF 化で不具合が生じないように、変換ソフト・使用可能文字・ファイルサイズ等、十分に検証の上、所定の提出先に本文の電子ファイルをメール添付にて送付して頂きます。

### 2. 原稿の書き方

原稿の作成にあたっては、以下により定められた書式に忠実に従ってください。書式を逸脱した原稿は受け付けられない場合があります。

- 【最終提出原稿】 最終原稿は、そのまま USB メモリーにコピーします。提出は、本文のPDF 電子ファイルです。なお、PDF 作成後、元原稿と相違がないか確認し、提出して下さい。掲載決定後に KABSE シンポジウム実行委員会でページ番号等を挿入しますので、セキュリティ等の設定は行わないで下さい。
- 【概要の作成】 最終原稿の提出時に、1 ページの概要版を提出してください。書式の詳細については、概要作成例を参考にしてください。
- 【書式等】 フォントは明朝体とし、文字サイズは9ポイントとします。なお、論文英文題目と執筆者英名は Times または Times New Roman とします。書式の詳細については、最終原稿作成例を参考にしてください。
- 【図・表・写真】 図・表・写真は、カラーでも可能です。ただし、解像度はむやみに大きくすることなく、必要最小限として下さい。なお、図・表・写真を他の著作物から引用する場合は、出典を必ず明記し、かつ必要に応じて原著者の了解を得て下さい。
- 【原稿の作成基準】 以下に従って作成し、4 ページから 6 ページとして下さい。

		上下位置	左右位置	文字の大きさ	備考
マージン		上辺マージン 20mm 下辺マージン 25mm	左辺マージン 20mm 右辺マージン 20mm		(フォントは9ポイントで、総幅 52 文字×50 行の2 段組)
ヘッダー		—	—	—	記述してはいけません。
フッター		—	—	—	記述してはいけません。
シンポジウム開催月		先頭ページ仮想上枠の直下行に書く。	仮想左枠から 2 文字あける。	9ポイント	第 2 回は 2014 年 12 月になります。
題目	和文題目	左上発行年月から 2 行あける。	センタリングで左右枠から 20mm 以上あける。	12 ポイント以上で強調する。	
	英文題目	和文題目から 1 行あける	同上	9ポイント	
執筆者	和名	英文題目から 1 行あける	同上	同上	執筆者右肩に順に上付きの*を書きます。
	英名	和名の直下行に書く。	同上	同上	
	資格・勤務先等	英名から 1 行あける。(一人 1 行)	同上	同上	会員資格、勤務先、連絡先住所の順に書きます。
要旨		資格・勤務先等から 1 行あける。	左右枠から 5 文字分あける(中央配置)。	同上	日本語とし約 300 字(42 字×7 行を標準)とし、キーワードは不要です。
本文	見出し	要旨から 1 行あける。章・節・項は 1 行使用する。	横 2 段組み(25 文字×2 段)とし、段組み間スペースは 2 文字または 7mm 程度とする。	同上	例) 4. 章のタイトル 4.1 節のタイトル (1) 項のタイトル
	図・表・写真	図・表・写真およびそのタイトルと本文文章とは 1 行あける。		タイトルは9ポイント	図のキャプションは図-◇とし図の下に、表のキャプションは表-◇とし表の上に表示します。写真のキャプションは、写真-◇とし写真の下に表示します。極力当該頁の上部または下部にまとめてレイアウトして下さい。
	式	本文中に書く。	式自体は行の中央に表示し、式番号は括弧書きで右詰めとする。	適切なサイズ	数式用のフォントは、式及び文章内で同一として下さい。なお、PDF 変換に際し文字化け等に留意して下さい。
謝辞、付録		「結論」の後、1 行あけ、「謝辞」の後、1 行あける。	結論からの連番とする。	9ポイント	結論、謝辞、付録、参考文献の順となります。

参考文献	本文から1行あけ、まとめて記載する。 参考文献の下は1行あけたのち、左右の段落の最終行を極力そろえる。	最終頁の右段で終わらせる。	9ポイントとする が間隔は密でもよい。	引用順に番号を付け、本文中にはその番号を右括弧書き数字・右肩上付きで示します。 記述は、著者名・論文名、雑誌名、巻号、ページ、発行年の順とします。
受付日	受付日は最終原稿提出締切日とする。(2018.10.26 受付)			

### 3. 英文で投稿される場合

基本的には和文のフォーマットに従っていただきますが、題目は英文だけを記入してください(12ポイント, センタリング, Times New Roman). 著者名も英名 (Alphabet 表記) のみでよいです. 所属を記載し, 要旨・本文を英文で書いてください.

## 第6回九州橋梁・構造工学研究会シンポジウム 発表要領

### 1. 発表時間

各人のプレゼンテーション(8分)のあと質疑(4分)の時間を設けます。また、セッションの最後に当該セッションを通しての討議の時間も設けます。

### 2. 持参すべきもの

実行委員会側ではPCの準備はいたしませんので、各自でノートパソコンをご持参ください。また、各セッションが始まる10分前までに会場で機器の動作確認を行ってください。

### 3. 開会、閉会

開会前に受付を済ませるようにしてください。また、閉会時に各賞の授賞式と総評がありますので、必ず参加してください。